

「武蔵のくににエゴマあり。」中山間地で農業参入！ (有限会社モリシゲ物産)

<法人の概要> 所在地：埼玉県さいたま市

設立：平成8年8月

資本金：300万円

売上高：9,500万円（平成25年5月期）

（うち農業及び農業関連事業：2,500万円）

役員：3名（うち農業従事者3名）

従業員数：常時雇用者2名（うち農業従事者1名）、臨時雇用者1名

経営面積：1.6ha（埼玉県秩父市）

営農作物：荳胡麻

農業開始時期：平成23年6月



荳胡麻



法人経営圃場

<農業参入に至った経緯・動機>

・食品卸売業を行う会社として経営を行っていたが、零細卸業が生き残るには、自ら栽培し製造販売までを行うオンリーワンの事業を行うことが必要と考えた。

・加えて「食」の海外依存の高まり及び食料自給率の低さから、会社自らが栽培する意義を確信し、農業参入することとした。

<農業参入することを決めてから営農開始まで>

・作物選定に当たっては、社長自身が食品メーカー勤務していた際の経験から機能性食品についての素地があったこと、及び健康は「食」にありとの思いから希少機能性油糧植物である「荳胡麻」栽培に挑戦。

・農地の確保については、県や市などの関係機関と相談したところ、県農林公社が再生した耕作放棄地を含む秩父市内の農地約1haの貸借に至った。当該農地は寒暖の差が大きい中山間地に位置し、荳胡麻栽培に適していた。

・現在では、地元障がい者施設、地域住民などのボランティア協力により耕作地を改善してきているが、参入当初は石が多く、苦労も多かった。

<営農開始から現在まで>

- ・栽培技術については、秩父市での農業参入前に福島県において栽培ノウハウを得ており、現在ではハウスでの育苗、畝立て、機械移植と一連の栽培技術は確立出来つつある。
- ・荳胡麻はメーカーへの原料供給だけでなく、焙煎荳胡麻、荳胡麻油や荳胡麻味噌などに委託加工し販売。
- ・販路については、百貨店、専門店や道の駅等への販売の他、自社HPでのインターネット販売も行っており、販売数は上昇傾向。
- ・荳胡麻の委託農家がなかなか増加しない中、加工原料としての荳胡麻は不足気味の状況。
- ・生産から販売までを自社で行う「自ら栽培する一貫事業」として農業に参入し、徐々に秩父産の荳胡麻の認知度も高まっており、地域住民の信頼を得ることで、新たな農地の提供者が出てきている。

<今後の農業経営の展開方向>

- ・地域の委託農家を増やし、産地形成を図ることによる収量確保。
- ・機械や施設の導入状況も勘案しながら自社経営農地を3ha程度まで拡大したいと考えている。
- ・地域の旧JA支店を借り上げ、加工場を立ち上げ中であり、新商品開発（発酵食品等）、搾油、粉末製品化と荳胡麻未利用部分の商品化による事業の効率化と販路開拓を行うとともに、地域雇用を確保したい。
- ・荳胡麻の裏作による経営効率の上昇（ニンニク、大麦、しゃくし菜などを検討中）。

<今後農業に参入しようとしている法人へのアドバイス>

- ・地域とのコミュニケーションを十分に行い、地域協力者を見出すなど、地域との交流関係を構築し、相互の情報が送受信できるようにすることが重要。



地域内直売所での販売



加工場整備予定（旧農協支所を賃借）